

**Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2018年11月26日公開**

**With Pastor JD ゴラン高原より**

(日本時間 11/26 22:00～＝イスラエル時間 11/26 15:00～)

\* 動画は左右反転しています。地図でご確認ください。

.....  
【アミール】皆さん、私たちはゴラン高原の頂上にいます。良いお天気です。



ゴラン高原にて。前の白いのは、塹壕！

JD 牧師、私達の後ろに見えているのは、廃墟となった町クネイトラ、そしてこちらには、クネイトラの新しい町です。あっちが、ヘルモン山で、イスラエルとシリアで共有しています。

あちらでは、シリアが地下水を組み上げようとしていて、そうすることで、ガリラヤ湖に水を流さず、あちらで彼らが確保しようとしています。

あちらの停戦ラインが見えるでしょうか？

それから、皆さんが目にしていく農業地帯は、全てイスラエルのものです。

今回は、ゴラン高原の重要性について語る良い機会です。

聖書にさかのぼると、ここはかつてマナセ部族の半分がいた場所で、はるかヘルモン山までです。マナセ族は分断して、半分はヨルダン川を渡って内側に行き、もう半分はここに留まりました。

ですから、聖書的にここは、イスラエルの民が、当時所有していたものの一部です。

そしてもちろん、場所は所有者を変え、最終的に、ユダヤ人が彼らの故国へ戻って来た時は、私達の手中にはありませんでした。

イギリスとフランスが、オスマン帝国の残骸を彼らの間で分割した時、彼らは、サイクス・ピコ協定を結びました。

基本的には、ゴラン高原はシリアの一部、フランスの権限の一部となって、国の他の部分は、ユダヤ人の故国を整えるイギリスの権限の一部となりました。

私達がいる、この場所は、西と南に 15km 行った先まで一帯が高台で、1948 年から 1967 年まで、毎日、シリアが、ここからイスラエルを攻撃していました。

そしてもちろん、1967 年我々が占領します。1973 年、彼らは再び取り戻そうとし、そして 1981 年、我々はゴラン高原を併合しました。

ですから今は、イスラエルの一部です。イスラエル人の考えでは、ここは合法的にイスラエルの一部です。ここではイスラエルの法律が執行されています。

そして現在、2018 年、誰が、ゴラン高原の主権を所有しているのか？ もしくは誰がゴラン高原の正当な所有者なのか？ という問題が、再び上がっています。

JD 牧師、現在、ゴラン高原で議論を起こしているのは、誰ですか？ ゴラン高原の正当な権利について、大きな疑問を投げかけているのは？

【Pastor JD】私が信じているのは、導火線であるシリア、具体的にはダマスカスから始まり、そこから我々がエゼキ

エル 38 戦争と呼ぶものが 成就します。

これが、興味深いことに、その中にシリアは出て来ません。

エゼキエル 38 章に、古代名で挙げられている国の中に、シリアは含まれていません。

その為、私を含む多くの人が、イザヤ書 17:1 の預言が成就するのだと信じています。

## 1 ダマスコに対する宣告。見よ。ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。

(イザヤ書 17:1)

【アミール】 あちらに見えているのが、ダマスカス郊外です。皆さん、出来る限り遠く、あちらを見てください。

そうすると見えるでしょう。ずっと遠くです。私の手を見てください。こっちの方向です。

あの近代的な都市の後ろ、その左側に、ダマスカスの郊外が見えます。

ここから 60km、40 マイル先が、もうすでにダマスカスです。ダマスカスはまだ、立っています。JD 牧師が言ったように、ダマスカスは立ったまま、人が住める状態で残ってはいけけないのです。言い換えれば、大部分がまだ立っているなら、イザヤ書の預言は、まだ成就されていない、ということです。そしてもし、シリアがエゼキエル戦争に出てこないなら、その町は、その前に滅びるはずです。

では JD 牧師、エゼキエル戦争でなく、イザヤ書 17 章が起こるきっかけは、何だと思えますか？

【Pastor JD】 これは、多くの人が問う質問です。シリア、ダマスカスの崩壊は、イスラエルの手によってもたらされるのだろうか？

また、そうなる、と信じている人達もいます。しかもそれは、突然起こる、と。

そして一旦それが起こると、ロシア、イラン、トルコと他の同盟国がイスラエルに侵略するのは、時間の問題です。

まさに、エゼキエル 38 章に書かれている通りに。

また、ある人達が信じているのは、これもまた可能性があって、それは内側から起こると言います。ロシア、イランに相対して。それからトルコ。今日、彼らは用意が出来ています。そして高い可能性で、彼らのバッシヤール・アサドに対する用が済めば、それまでです。彼らの目的のためです。だから彼らはシリアにいるのです。

皆さん、彼らがシリアにいるのは、バッシヤール・アサドの権威を守るためだと思えますか？違いますよ！

彼らがあそこにいるのは、イスラエルのためです。彼らがあそこにいるのは、2500 年以上前に、預言者エゼキエルが書いたためです。

彼らはシリアにいて、イスラエルに侵略する、と。だから、彼らがあそこにいるのです！

だから、ちなみに、彼らはどこへも行きませんよ！

【アミール】 それから興味深いのが、多くの人が疑問に思っているのは、

私達がすでに知っている事、私達が、彼らよりもよく知っている事を、彼らはもう知っているかも知れない。

JD 牧師が今言ったように、彼らは、イスラエルに侵略するために、ここにいなければなりません。

ただ、彼らは、自分達がなぜここにいるのか、まだ、分かっていないかも知れない。

これは、私達が考え得る疑問です。

今日、彼らが、自分達がここにいる理由として考えている事が、明日は違うかも知れない。

よく聞かれるのは、なぜロシアは今、他でもなくシリアにいるのか？

それに対して私は、三つの理由を挙げる事が出来ます。

ところで、そのどれ一つとして、“まだ” イスラエルとは関係ありません。やがてそうなりますが。確実に、私は 100% そうなると信じていますよ。誤解しないでください。

しかし、思い出してください。ロシアにとっては、長年、彼らの艦隊のための不凍港を求め続けてきたのです。

ロシアの艦隊というか、港の 3 分の 2 は、一年の内ほぼ 8 ヶ月は、完全に凍っています。

だから彼らは訓練も出来ないし、巨大な艦隊を港から動かす事も出来ません。彼らには、不凍港が必須なのです。

ところで、クリミアでの戦争や、その他の戦争も、それが理由の一つです。

次に、もう一つの理由は、もちろん、石油価格の下落です。そのため、彼らにはもっとエネルギー源が必要なのです。そして三つ目は、もちろん…JD 牧師、三つ目は何ですか？

【Pastor JD】三つ目があつたはずですよ。天然ガスとっておきましょう。

皆さん、覚えているでしょうか？ 確か、2008 年だったと思いますが、ロシアがジョージアに侵略しました。と言っても、アトランタではありませんよ(笑)。

(ツアー客の一人に) ああ、あなた、アトランタからでしたね！

ともかく、その理由は、プーチンは、地域全体に流れ込む天然ガスを支配したかったのです。

そして、その結果

【アミール】三つ目が何か、思い出しました！でも続けて！！ 続けてください！

(Pastor JD、マイクをアミールさんに向けようとする。)

いやいやいやいや！すごく良い回答だったから、続けてください！

いやいや、あなたの言う通りだ！

【Pastor JD】ガスは石油と同じ部類に入れておきますよ。

エゼキエル 38 章 13 節に書かれているサウジアラビアの抗議に関して、私達も最近よく話していますが、これに関して、ある人がいいことを言っていました。

具体的にはこの侵略に対して、サウジアラビアとタルシシュと全ての若い獅子が、言うのです。

『お前は戦利品を奪う(SPOIL)のために来たのか。』

と。ある人が言っていたのは、この戦利品(SPOIL)から、“SP”を取れば、“OIL”(石油)になる。ここ、イスラエルで、天然ガスと石油を発見した後、それに、ロシアでの石油生産にかかる費用、特に価格が今ほど低下しているのは、彼らは、ただ単に「侵略しよう」と言うのではなく、「しなければならぬ」のです。生き残りがかかっているのです。

どうぞ。三つ目は何なの？

【アミール】そうですね！たった今、思い出しましたよ！

ところで、どのバスだったか、緑のバスの人に、「三つあるから、覚えておいてください。」と頼んであったのです。でも、言ってくれなかった。

【Pastor JD】わお！

【アミール】でも、正直に言えば、この三つの内容は、彼に言ってなかったから。ただ三つある、と言っただけで。

ともかく、三つ目は、ロシアがシリアに入ったのは、いつでしたか？

彼らが、ウクライナに入って、クリミアを占領した、一ヶ月後でした。

ロシアは、ウクライナに彼らが行ったことから、目を逸らさなければならなかったのです。そして、やって来た。

オバマが、シリアに地上軍を送って助けることを拒んだから。そこでロシアは言います。

「我々がやろう。我々が、ここシリアで、世界の警察になろう！」

「あなたがしないなら、我々がする。」「私達は、善人だ。」

「ウクライナの事で、我々を罰するな。」「我々が世を助ける。我々が紛争に対処しよう。」

【Pastor JD】ウクライナで何が起こったか、聞きましたか？

【アミール】はい！ウクライナ！

私が思うに、ウクライナは…

【Pastor JD】これは四つ目！

【アミール】いえ！まだ三つ目の内です。ウクライナは、——オッケー。W 杯も終わって、プーチンが必要としていた、産業的な静寂はもう必要なくなった。

そこで、今、彼は、再びウクライナで活動出来るのです。

彼は、彼の船の一隻を、ウクライナの船に衝突させ、そして海軍の人達が数人負傷しました。しかし彼らは、ウクラ

イナ海軍の船を3隻奪って、ウクライナ海軍の士官達を100人以上捕え、拘留したのです。というより、基本的には捕虜ですよ。昨日、起こったばかりです。

つまりポイントは、プーチンは基本的に、こんな風に言っているのです。

「手遅れになる前に、取れるものは取っておこう。」

ウクライナは、NATOの一員ではありませんから、NATOは、ウクライナを助けに行く必要はないのです。

だから、「今、出来るのなら、手遅れになる前に今、やっつけてしまおう。」と。

ところで、「他の人が掴む前に出来る限り早く掴もう！」というのが、ここでのゲームの名前です。私達は、それを目にしています。

ですから、ロシアは、皆さんがご存知かどうか分かりませんが、この我々の国境は、ロシアの軍警察がパトロールしているのです。イスラエル国境に、ロシアがいるのです！

2日前、イスラエルのエネルギー相が、最深、最長の石油パイプについて発表したのと同時に、こんな事を言いました。

「イランは、イスラエルと国境を共にしたいのだ。しかし、イランはイスラエルと国境を共にしていない。仮に、彼らがイスラエルと国境と共にしようとしても、我々は、彼らがイスラエルと国境を共にする事は認めない。」



最深、最長の地中海ガスパイプライン

イランはここから何千kmも離れているのです。ところが彼らは、彼らの軍隊をイスラエルの国境まで持ち込みました。私達には、それは認められないのです。そして、もし、——もう一つの質問は、「誰がダマスカスを滅ぼすのか？」でしたね？

【Pastor JD】 ええ。

【アミール】 それは、誰にも分かりません。聖書は、それは告げていませんから。

しかし、イスラエルは必要であれば、イランがこの場所に地位を確立するのを止める事を、ためらいません。

これは非常に興味深い事になると思います。なぜかというと、私は、私達は、それがエゼキエル 38 章の引き金となると信じていますから。

【Pastor JD】 はい。それが、きっかけとなります。

もし差し支えなければ、本当は、この前に聞いたかったんだけど、

【アミール】 二人っきりで？(笑)

冗談ですよ。見てください。皆、幸せそうだ。(笑)

どうぞ。何についてでしょう？

【Pastor JD】 私達は、あなたは私以上に詩篇 83 篇について、よく聞かれますね？

【アミール】 はい。

【Pastor JD】 ちょっと時間を取って、それについて説明してくれますか？

【アミール】 はい。きっぱりと言いましょ。

【Pastor JD】 この中にも、私に聞いていた人がいましたね？詩篇 83 篇の戦争/祈りは、預言のどこに当てはまるのか？

【アミール】 オッケー

【Pastor JD】 アミールさんは、私がこれまで聞いた誰よりも上手く説明していますから。

【アミール】 お褒めの言葉をありがとうございます。

では、詩篇 83 篇は、——ところでこの詩篇は、毎年、イスラエルの終戦記念日に、亡き兵士達の為に、イスラエル軍のラビ達が朗読するものです。

では、説明します。詩篇 83 篇は、イスラエル誕生の図です。なぜかといえば、1948 年まで、この国の名前は何でしたか？

墮落したローマ皇帝ハドリアヌスの時代以来、西暦 135 年以降、1948 年まで、この場所の名前は、パレスティナでした。厳密には、「シリア・パレスティナ属州」です。

その理由は、彼が心底憎んでいたユダヤ人達に、旧約聖書の天敵、ペリシテ人を思い出させるために、その名前をつけたのです。



ハドリアヌス胸像

パレスチナ人とは、何も関係ありません。この地の名前は、ペリシテ人にちなんでつけられたのです。

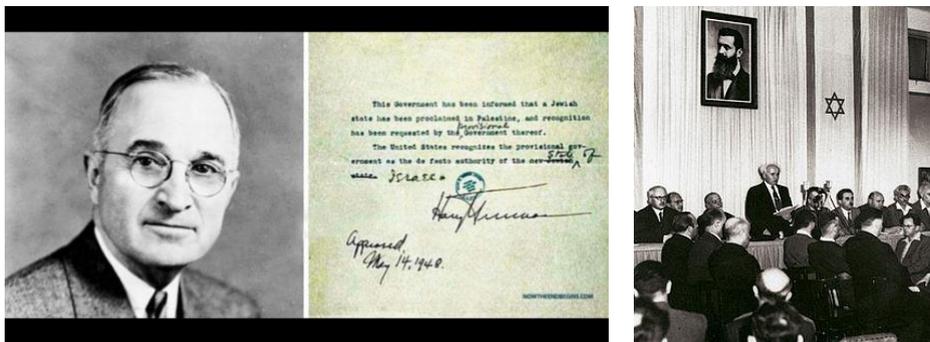
もちろん、ハドリアヌスの時代、彼らはもう、存在すらしていませんでしたが。ただ、彼は、ユダヤ人達を侮辱したかったのです。

次に、詩篇についてですが、…その前に、ほぼ 2000 年近くの間、この地の名前はイスラエルではありませんでした。ダヴィド・ベン＝グリオンが、この国の名前を付けるにあたって、初めに行ったのは、何でしたか？

ところで、アメリカの大統領、ハリー・トルーマン、空母の話ではありませんよ？本物のハリー・トルーマンの話です。

彼が、イスラエル国家を認識する時、彼には、国の名前が何になるのかも、分からなかったのです。

だから最初の報道発表で、彼は、「ユダヤ人国家」と告げ、それから、彼はそれに“バツ×”をして、「イスラエル国」としたのです。名前がまだ、知らされていなかったから。



ハリー・S・トルーマン（左）と、「イスラエル」と訂正した報道発表書簡（中）と、  
国家独立宣言するダヴィド・ベン＝グリオン（右）

そして、ダヴィド・ベン＝グリオンが立っていて、言いました。

「ここに、ユダヤ人の国、ユダヤ人国家を宣言する。その名は…イスラエル国である。」

詩篇 83 篇には、こうあります。

1 神よ。沈黙を続けしないでください。黙っていないでください。神よ。じっとしていないでください。

- 2 **今、あなたの敵どもが立ち騒ぎ、あなたを憎む者どもが頭をもたげています。**
- 3 **彼らは、あなたの民に対して悪賢いばかりごとを巡らし、あなたのかくまわれる者たちに 悪だくみをしています。**
- 4 **彼らは言っています。「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。」**

(詩篇 83:1~4)

この戦争は、名前が全てです。

事実、我々の国が再建し、我々が故国の地に戻ったのは、1948年の戦争です。

それから彼は、彼らがどこから来るかを告げています。これらの国々は、ここでイスラエルと国境を共にしている国々です。

つまり、誰のことを言っているのか？

ヨルダン、レバノン、シリア、エジプト、さらには、アッシリアが彼らを助けると言います。つまりイラク。イラクが参加したのは、唯一、独立戦争だけです。

それと、「ペリシテの住民」だと告げています。

ですから、内側からは、自分のことをパレスチナ人と呼ぶ、アラブ人達、外側からは、全ての近隣アラブ諸国。

そして、彼らがやって来る理由は「彼らの国を消し去って」私達は、国として生まれたばかりでしたから。

それから、「イスラエルの名が もはや覚えられないようにしましょう。」

次に、早送りして2018年。

私達は、エジプトと和平があり、ヨルダンと和平があり、シリアは、もはやほぼ存在しません。レバノンは、彼ら自身の深い危機に陥っています。

それから私に言えるのは、アラブ界、ムスリム界は、今、イスラエルと国交を持つため、かけ込んで来ています。

もし、これで足りなければ、詩篇 83 篇は、戦争の理由は、イスラエルの名前である、と告げているのに対して、エゼキエルは、略奪品について語っています。エゼキエルは、存在が問題ではなく、彼らの持っているものが狙いだと言います。

ですからここで、1948年の非常に貧しく、ただ、名前を握りしめていた国から、2018年、非常に繁栄した国への、大きな移行があります。

そして、シリアにいるのは誰も…ロシアは、イスラエルが貧しい国だからここにいるのではありません。彼らは、イスラエルの持っているもの、イスラエルが展開したものが欲しいのです。なので、私、個人的には、これは、救いに関わる問題ではないのも分かっていますし、これで大騒ぎするつもりもありません。

ただ、私の意見を聞かれるなら、詩篇 83 篇は、1948年に成就されました。

私達は、我々の世代にそれを見たのです。私達の世代は、「滅びない世代」です。

私達の世代は、イスラエルの誕生をただだけでなく、私達の持っているものを取るために、人々が我々を取り囲むほどイスラエルが繁栄するのを見ています。

【Pastor JD】一つ、これに関してコメントしてもいいかな？

【ツアー客の一人】出た！”最後に一つ”

【Pastor JD】私は、“最後の一つ”とは言ってませんよ！（笑）それはまだ、言っていません！私はただ、“一つ、言わせて”と言ったのです。

ほら、リストが、ものすごく具体的なんです。

【アミール】そうです！

【Pastor JD】詩篇 83 篇の 6 節に、興味深い描写があって、これ、よく見てください。

## 6 それは、エドムの天幕の者たちと…

エドムとはヨルダンですよ。

【アミール】ハロー。

【Pastor JD】イシュマエル人、

これは、エジプトです。

【アミール】ハロー。

【Pastor JD】それから、イシュマエル人だけでなく、これはどうですか？

ハガル人

これは、ハガルですよ！ですから、ただハガルの子孫であるからと言って、イシュマエル人であるとは限らないのです。

これはエジプトです。ですから、エジプト、ヨルダン、そして私の出生地レバノンである、

ツロ

(詩篇 83:6 抜粋)

彼らの一人一人、エジプト、ヨルダン、レバノン、これに私は、シリアも入れますよ。

これらの地域のものは、どれもエゼキエル 38 章のリストに挙がっていないのです。

【アミール】ハレルヤ！

【Pastor JD】そうだ！そうです！

【アミール】それから、彼が言っていることを見てください。アッシリアまで助けに来るとあります。アッシリアまでもが彼らに参加する。

そして、イラクもリストに挙がっていない！これがポイントです。

私はこれに関して、断定的に言うつもりはありません。これは、救いに関わる問題でもありませんし、これに関して、誰かと議論するつもりもありません。

私は、こう信じている。それだけです。

真実です。(笑)ただ、皆さんに本当に理解していただきたいのは、エゼキエルは、私達の歴史の別の章であるということ。私達は、イスラエルが絶滅寸前であった時代は、もう経験したのです。そして、イスラエルは生きました。イスラエルは 1940 年の終わりから、1950 年代、1960 年代の中頃でさえ、毎日毎日、絶滅寸前だったのです。そして、シリアがこの場所を所有していた時、1950 年代、1960 年代、私達には、明日があるかどうかすら、分からなかったのです。

だから私達は、スパイ、エリ・コーヘンを送ったのです。



エリ・コーヘン

だから私たちは、生き残るためには、あちらで起こっている事を知り、彼らが計画している事を、前もって知る必要があったのです。

でも、今は違います。今は違って、彼らは、内側からほころび、他の 2 国は、イスラエルと和平があります。違うのです。

今イスラエルは、国際的にもレベルが違います。

ですから、繰り返しますが、私は、大きな違いがあると信じています。

私はいつも言いますが、詩篇の「83」を、エゼキエルの「38」にしてください。そこが、現在、我々のいる位置です。

JD 牧師、ここに立って、これを見て、どれくらいワクワクしていますか？

【Pastor JD】そうですね…あなたと私は、

【アミール】 そうだ。皆さんに見てもらわないと。よし。はい。



ゴラン高原でのお二人

【Pastor JD】 誰か、「邪魔だ」と言ってますね？(笑)

あなたも私も、例えば、1年前ですら、今日言っているようなことは、言えませんでした。

確実に、今日、私達はここに立って、ロシア、イラン、トルコがすぐそこにいて、

それからダマスカスが、崩壊して廃墟になる寸前です。

最近の歴史の中で、最近の記憶の中で、一度もなかったことです。

私、まだ大丈夫かな？

【アミール】 大丈夫ですよ。皆、あなたのことが大好きですよ。

【Pastor JD】 ちょっと見てよ？(髪の毛を整えるジェスチャーをする。)

【アミール】 マイクマイク！

【Pastor JD】 おお！マイク？！聞こえますか？聞こえない？やり直しても良い？

アミールさん、あなたの質問に答えるなら、私は、すごくドキドキしていますよ。

【アミール】 本当？

【Pastor JD】 こんな言葉を聞いたことがありますよ。

「イスラエルを初めて見る時は、目で見て、2度目に見る時は、心で見る。」

イスラエルには、何度も来ましたが、私は、ここにも何度も立ちましたが、今日のような感覚、これほどワクワクしたのは、初めてです。

【アミール】 お家におられる皆さんと、それから、ここにいる皆さんも、理解される事を願います。皆さんのご家族は、皆さんのことを狂っていると思ったでしょう？(笑)

そしてもし、皆さんが、…ちょっと待ってくださいね。カメラの向きを変えましょう。 そうすれば、皆さんを見ていただけるから。



ツアーの皆さん

逆光だから、少し暗いですが、「ハイ！」とってください。

【ツアー客たち】 ハイ！

【アミール】 「ハイ！」とってください。手を振ってください。

手を振って！オッケー。ご家族の皆さん、これはシリアです。

ここ。彼らは今、シリアを見ています。

言っておきますが、現在彼らは、シリアからほんの4マイル(約6.4km)先において、

そして彼らは、ものすごく楽しんでます。

良いですか？つまり、私が言いたいのは、世界は、皆さんを来させないように説き伏せようとするでしょう。世は、知っていますから。というより、敵は、皆さんがどれほど祝福されるか、知っているのです。

イスラエルを訪れると、信仰が強められると、私は信じています。

信仰が深まり、御言葉への愛が深まり、御言葉への理解が深まります。

だから敵はなんとしてでも、家族まで使って、あなたのことをキチガイ呼ばわりして、もしくは、「マジヌン？」

【Pastor JD】アラブ語でキチガイの意味です。

【アミール】「ロコ」とか何とか、あらゆる事を言います。何?! マイク! はい。

「あなたは狂ってる!」もし、まだ聞いていないなら。

世は皆さんに「お前は狂ってる」と言ったり、あなたの家族を使ったり、親戚や教会、時には、牧師すら、あなたが狂っていると思います。

でも皆さん、言っておきます。信仰によって踏み出して、この地に来ること以上に良いことはありません。

それから言っておきますが、皆さん、別人になって帰りますよ。

皆さんは、帰ってから理解するのです。「何でもっと早く行かなかったんだろう？」

【Pastor JD】一つ、言って良い?

【アミール】どうぞ。この辺にいてくださいよ。(笑)はい、どうぞ。(笑)

【Pastor JD】ある人と話をしている、私が言ったのは、これは、私にとっては、長年ずっとリトマス試験紙で、私にとっても役立って来ました。

私は、非常に良い決断をしたのは分かっています。唯一の後悔は、もっと早くに来なかったこと。私は、自分がとても良い決断をしたと思っていますが、唯一、後悔は、もっと早く来なかったことです。さらに言えば、今日ここにいる人は皆、イスラエルに来たことを、全く後悔していないでしょう。(ツアー客拍手)

シリアとの国境に来たことさえも!

【アミール】さて、… (Pastor JD が転ぶフリをする) おお! 気をつけて!!!

【Pastor JD】何が起こるか分からないんだから、構えていないと!

【アミール】私は、自分の携帯を持って来ましたよ。何かアクションを起こすように頼んでおく、と言ったでしょ? ロケットがこっちに向かって飛んで来るように。(笑)

いいえ。冗談です。(笑)

何の話をしてるのか、分かってない人もいるようですが。

とにかく、皆さん、言っておきます。

## 8 草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことは永遠に立つ。

(イザヤ書 40:8)

それから言っておきたいのは、いずれ全てが整った時、神の御言葉だけが立っているのを、皆さんは見るでしょう。ですから皆さんには、何よりもワクワクして欲しいのです。

神の約束は、どれ一つとして、イスラエルに対するものはもちろん、私達全員に対しても、叶えられず、放置されることは絶対にありません。

それから皆さん、知っておいてください。イスラエルに来るということは、神の誠実さの絵を見るのです。イスラエルは、神の誠実の絵です。私はそう信じています。

確かに、彼らは完璧ではありません。事実、彼らはまだ彼に従ってもいませんから。

しかし神は、神の役目を果たされます。そして時が来れば、彼らは自分達の誤ちを理解します。ホセア記 5 章にはこうあります。

15 彼らが自分の罪を認め、わたしの顔を慕い求めるまで、わたしはわたしの所に戻っていよう。彼らは苦しみながら、わたしを捜し求めよう。

(ホセア 5:15)

「大患難は、イスラエルの救いのため」私達は、いつもそう言っていますが、残念ながら、彼らは、それを経験し

ず。そして恐らく、彼が彼らのことを愛しておられることを理解します。彼は、彼らのために戻って来られます。

しかしそれまでは、イスラエルには、皆さんのお祈りが必要です。イスラエルには、皆さんの支えが必要です。それまでは、皆さん、理解しておいてください。

多分、世はイスラエルを見放すでしょう。しかし神は、絶対に見放されません。

エゼキエル 37 章には、神が、どのようにして彼らを墓から連れ出すかが書かれています。

私は、これは、ヨーロッパでのホロコーストの墓場だったと信じています。

彼はイスラエルが、こんな風に言うと言っています。

11 『私たちの骨は干からび、望みは消えうせ、私たちは断ち切られる。』

(エゼキエル 37:11)

それゆえ、預言して彼らに言え。

…わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、

イスラエルの地に連れて行く。わたしは、あなたがたを“あなたがたの地に”住みつかせる。

神が、「わたしがそれを行う」と言われるのです。どの国でもありません。神です。

そして時が来れば、エゼキエルは、どこの国も、イスラエルを助けないと言います。

だからどの国でもなく、主ご自身が栄誉と栄光を受けるのです。

JD 牧師、バスの中でも、聞かれましたが、

エゼキエル戦争の時、アメリカが、イスラエルの側に立って戦わないのは、なぜだと思いませんか？

明らかにそれが起こった時、どの国も一切、イスラエルの側に立ちませんから。

【Pastor JD】それについて、こう答えましょう。アメリカが出て来ないことの理由になるように私が祈っていること、  
(ツアー客から歓声)

皆さん、もう私が何を言おうとしているのか分かりますね？

正直になりましょうよ！

(ここにいてくださいよ?) (Pastor JD、後ろにつんのめりそうになる。)

冗談ですよ！ごめんなさい！

本当にごめんなさい！これは、すごく意地悪だったね。

【アミール】ほんとだ

【Pastor JD】あれは、いけない。

【アミール】今、奥さんが見てないと良いけど。(爆破音)

聞こえましたか？

言ったでしょ？ちょっと待って。(携帯電話を持って)

「もっとお願いします！ もっと！」

あれは爆破音です。あちらで爆発がありました。

どうぞ。

【Pastor JD】正直になりましょう。教会の携挙が、アメリカ合衆国が出て来ないことの説明にはなりませんか？

ジャンさんの預言カンファレンスで、去年だったか、今年だったか、両方かも知れません。

私は、どれほど確信を増しているかをお話ししました。

突然の滅びが、「彼ら」に

【アミール】 去年ですね。

【Pastor JD】 去年だった？

【アミール】 はい。

【Pastor JD】 “彼ら” は、それをのがれることは決してできません。

それに対してパウロが私達について言っているのは、「私達」

「私達は、逃れる」

17 生き残っている“私たち”が、たちまち 彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ…。

(第一テサロニケ 4:17)

それは、突如として起こります。キーワードは「突如として」

第一テサロニケ 5 章によると、「彼ら」が、「私達」ではありませんよ？

3 人々(彼ら)が、『平和だ。安全だ。』と言っている そのようなときに、突如として滅びが“彼ら”に襲いかかりま  
す。

私達にはありません。

ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、(彼らは) それをのがれることは決してできません。

(第一テサロニケ 5:3)

これに関して、議論が分かれるのも知っていますし、希望的観測であるのも分かっています。それで構いません。

しかし、本当にこれは、 際立って、かつベストな説明じゃないでしょうか。 アメリカは、教会の携挙のために、不  
在になる。(アーメン！)

【アミール】 アーメン！私は、他の全ての国の不在にも、これが最高の説明であることを願います。素晴らしい。

みなさん、以上です。

今、爆破音が聞こえましたね？ちなみに、もっと聞こえますよ。

これは、この 7 年間、日常の出来事になっています。 この戦争が始まって、8 年目に入りましたが、 破壊的な戦争で  
す。

彼らは数十万単位で互いに殺しあっています。

そしてイスラエルは、ほんの 1 週間前まで、ここに病院を置いて、大使が言っていた通り、 そこで、治療をしていた  
のです。

あれらの村々や、この地域のいたる所から、人々を救急車でイスラエル国内の、イスラエルの病院に連れて行き、



シリア人たちに治療を施していた、ガリラヤ湖畔のジブ・メディカル・センター

そこで、一ヶ月とか、二ヶ月、三ヶ月、そこで治療して、それからまた、彼らの家族の元に戻っていたのです。

一つのケースでは、妊婦が女の子の赤ちゃんを産んで、その子を“サラ”と名付けたのです。女性は、ヘブル語の名前をつけたかったと言いました。

「イスラエルが、私達のためにしてくれたことは、私達の想像を、はるかに超えていた。イスラエルが、私達に命を与えてくれるなんて。私達の国の人達は、私達を殺そうとしたのに。」

この証しは、イスラエルの目的は何で、なぜ、我々はどこにいるのか、我々がどういう者なのかを、証明しています。メディアは、いつも、善を悪、悪を善と見せかけ、悪いものを良いもの、良いものを悪いもの、闇を光、光を闇のように見せかけます。それが世の霊です。

これらは災いです！

ですから私は、ミディアン人を羨ましいとは思いません。私は、メディアをミディアン人と呼んでいますが、彼らを羨ましいとは思いません。

地獄には、彼らのために特別な場所が用意されていると思いますよ。きっと、温度もちょっと高めでしょう。

ただ一つ言えることは、皆さん、アメリカでも同じことを目にするでしょう。良いことをする人々は、——ほら、エリヤは、アハブに、

「イスラエルを煩わすもの」

と呼ばれましたね？唯一、神を恐れた男が、「煩わすもの」と呼ばれたのです。

皆さんも、アメリカを煩わすもの、ヨーロッパを煩わすもの、南アメリカを煩わすもの、フィリピンを煩わすもの、スカンジナビアを煩わすもの、オーストラリア、ニュージーランド、オーストリアを煩わすもの、

皆さんは、皆さんの国を煩わすものと呼ばれるでしょう。

しかし、彼らは盲目にされているのです。彼らは、この世の君によって、盲目にされているのです。

あと少しだけ、頑張りましょう。私達は、もう、ゴール間近まで来ていて、ゴールが見えてきています。

私達は、私たちがもうすぐこの競走を完走することを知っています。ですから、終わり直前で諦めないでください。

勝つために走りましょう。聖書は、私達がこの競争を走る時、勇敢に戦え、と告げています。覚えていてください。

上を見て、私達の信仰の創始者であり、完成者である、イエスに目を向けるのです。

私達の格闘、私達の競争のゴールは、あちら（上）ですよ？ここではありません。

だから、皆さん、上を見ましょう。だから、私達は上を見なければなりません。

最後に激励の言葉はありますか？

【Pastor JD】第一テサロニケ 4 章で、使徒パウロが、テサロニケの人達に言っています。

ところで、彼らは、ものすごく落胆していたのです。

【アミール】そうです。

【Pastor JD】そして、「祝福された希望」とは、皆さん同感だと思いますが、これは、私達の唯一の希望で、教会の携挙です。

そこで彼は言っているのです。

## 16 キリストにある死者が、まず初めによみがえり、

(第一テサロニケ 4:16)

愛する人を亡くした人は、これに、大きく励まされ、希望を得るはずで。

彼らは、先に新しいからだを得るのです。

【アミール】彼らは、皆さんを追い越していきますよ。皆さん、彼らを見ますよ。(笑)

【Pastor JD】彼らが、先に栄光の体を与えられて、それから、

## 17 次に、生き残っている私たちが、たちまち 彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で（彼らと、）主と会うのです。

(第一テサロニケ 4:17)

この後、パウロが言っていることに、私はものすごく励まされます。

18 こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。

(第一テサロニケ 4:18)

オッケー。これで最後です。

【アミール】 はい。大丈夫ですよ。

【Pastor JD】 皆さん、これを楽しみに目を向けていると、何であれ、今、皆さんが直面している事を乗り越えやすくなります。

【アミール】 その通り。今、テサロニケ人への手紙の第一、第二について、話されましたが、覚えていますか？第二テサロニケの最後は、こうです。

16 どうか、平和の主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてと、ともにおられますように。

(第二テサロニケ 3:16)

イエスは平和の主です。主だけが唯一、平和を与えられる方です。

どの国であれ、どの和平案にも、期待してはいけません。

ですから、どうか、平和の主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてと、ともにおられますように。

ありがとうございます。God bless you!

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

#### 【写真出典一覧】

ゴラン高原にて。前の白いのは、塹壕！ : Instagram beholdisrael 2018/11/26

最深、最長のガスパイプライン : Behold Israel “Israel, Greece, Italy And Cyprus Finalize Gas Pipeline Agreement” Nov. 25, 2018

ハドリアヌス胸像 : Wikipedia 「ハドリアヌス」

ハリー・S・トルーマンと「イスラエル」と訂正した報道発表書簡 : NOW THE END BEGINS “69 YEARS AGO TODAY, PRESIDENT HARRY TRUMAN OFFICIALLY RECOGNIZED THE REGATHERED STATE OF ISRAEL” by Geoffrey Grider May 14, 2017

国家独立宣言をするダヴィド・ベン=グリオン : Wikipedia 「ダヴィド・ベン=グリオン」

ゴラン高原でのお二人とツアーの皆さん : 動画より

シリア人たちに治療を施していた、ガリラヤ湖畔のジブ・メディカル・センター : WEB RONZA 「敵国人に医療を施したイスラエルの病院を訪ねて」 徳留絹枝 2018年11月29日